

野岳ため池

(のだけためいけ)



ため池の遠景



ため池内の吊り橋

ため池に隣接するロザモタ広場



ため池の概要

ため池の所在地

長崎県大村市

ため池の特徴

野岳ため池の歴史は古く、寛文3年(1663)、当時の九州捕鯨の草分けであった深澤儀太夫によって築造されました。

儀太夫は捕鯨で築きあげた財を藩財政や社会事業に献金し、寺院の建立などを行うとともに、干ばつの被害が多かった領内各地にため池を築造し、かんがいの便を図りました。その代表的な池が野岳ため池であり、当時の金額で4200両の巨費を投じて築造されたこのため池は、350年近くを経た今でも、約120haの田畑を潤しています。

多良岳県立公園に位置する野岳ため池周辺は、自然豊かな湖面を活かしたキャンプ場、運動広場、親水広場などが整備されています。

今も地元では毎年深澤儀太夫の遺徳を偲ぶ例祭が行われているほか、春にはしゃくなげまつり、5月には新茶まつりが開催され、地元にとっては、地域コミュニティの拠点としても利用され、また、産業振興にも大きく貢献しています。

関連情報

大村の歴史、大村の文化財(大村市教育委員会)